



2



1

HOT NEWS\_鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修

期待と不安、そして希望へー

見て、触れて、感じて  
生徒たちが見つめてきたもの

1\_オーストラリア・ブリスベン市にある豪日親善の碑 2\_学校生活最終日に行われた「さよならパーティ」の様子。クラスメイトたちから心のこもったプレゼントが贈られた 3\_折り鶴を使って日本の文化をホストファミリーに伝えた 4\_学校での授業の様子。パディ（滞在中、助け合う相棒のこと）と一緒に勉強に励んだ



3



4

海外での生活を通じて、語学や異文化を学ぶ「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。広見中3年近藤寿洋さん、清家怜さん、高田英雄さん、鶴井美久さん、日吉中2年宮崎侑希乃さん、3年山本若奈さんの6人が、8月16日から25日までの10日間、オーストラリアのブリスベン市に派遣されました。

ホストファミリーやクラスメイトとの交流を通して、それぞれが成長できた海外研修。期待と不安を胸に旅立った海外で、充実した日々を送った生徒たちに感想を聞きました。



左から、宮崎侑希乃さん、清家怜さん、鶴井美久さん、山本若奈さん、近藤寿洋さん、高田英雄さん

驚きの異文化交流

貴重な経験に

広見中 近藤寿洋

オーストラリアでは日本のことを教えたり、オーストラリアの文化などを知ることができました。

交流した学級では、友人に名前をカタカナで書いてあげたり、日本のことや鬼北町のことを話してあげたりしま

した。また、オーストラリアの日常生活や学校生活についても知ることができました。朝食は少なめでしたが、学校でのモーニングティーやランチタイムのお弁当を渡されるのであまりお腹はへりません。モーニングティーとは昼食の二時間前に食べるおやつのようなもので、学校ではこれやお弁当を廊下で食べていました。また、学校の終業時間が早くて驚きました。部活もなく、朝の会や終りの会もなく、日本とは違うことだらけでした。

おかげでとても貴重な経験ができました。どうもありがとうございました。私は、このオーストラリア研修に参加でき本当に良かったです。

現地の人の優しさに触れ、

次に繋がる意欲に

広見中 清家怜

普段使っている日本語が使えず、英語だけの生活にはとても不安がありました。伝えたいことが伝わらなかつたり、いろんな失敗も多々ありましたが、オーストラリアの人たちの優しさに囲まれ、自分なりにコミュニケーションをとることができ充実した日々でした。

この研修を通して、もっとたくさんの外国について知りたいと思ひ、もっとたくさん英語で伝えたいと思ひました。これから、もっと外国についての知識を深めていきたいです。